

2日目 3月20日(金)

■会長講演

2日目(3月20日) 13:00～13:45

第1会場(4Fマリンホール)

座長 近藤 久禎(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PL 災害を科学する～経験を科学に

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座
災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

■特別企画9

2日目(3月20日) 10:10～11:40

第1会場(4Fマリンホール)

(新潟県医師会企画)新潟県の災害における保健医療活動
～被災地医師会、DMAT、行政の連携～

座長 大谷 哲也(新潟市民病院)

廣瀬 保夫(新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター)

2-SS9-1 新潟県が被災地であった災害に対する医療活動の歴史

新潟市民病院 救命救急・循環器病・脳卒中センター 熊谷 謙

2-SS9-2 新潟県中越地震における地元医師会の災害医療活動

中村内科消化器科医院 中村 忠夫

2-SS9-3 中越沖地震における災害拠点病院、医師会、DMATの連携、 そして災害対応から学んだこと

つよしクリニック/日本DMAT/新潟DMAT 津吉 秀樹

2-SS9-4 新潟県中越沖地震における保健医療活動～地域医師会、DMAT、行政の連携～ 現地保健所の立場から

新潟県柏崎保健所(兼)新潟県福祉保健部 堀井 淳一

2-SS9-5 震災・災害後の静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)予防活動について

新潟大学大学院医歯学総合研究科 先進血管病・塞栓症治療・予防講座 榛沢 和彦

■特別企画10(大会ホームページをご覧ください)

2日目(3月20日) 15:00～16:00

第6会場(3F中会議室302)

座長 飯村 学(国際協力機構(JICA)国際緊急援助隊事務局)

富岡 譲二(社会医療法人緑泉会 米盛病院)

2-SS10 (緊急報告)ミャンマー連邦共和国地震被害における国際緊急援助隊医療チームの 活動について

横浜労災病院 中森 知毅

日本医科大学武蔵小杉病院 井上 潤一

埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子

岩手医科大学 藤原 弘之

埼玉医科大学総合医療センター 井上 信明

■特別企画11 (大会ホームページをご覧ください)

2日目 (3月20日) 10:35～11:35

第7会場 (展示ホールA1(特設))

座長 石井美恵子 (国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所 保健医療学専攻 災害医療分野)
塚田 芳久 (新潟県厚生農業協同組合連合会)

2-SS11 (新潟大学企画) 新潟からの発信! 一企業の取り組み—

安達紙器工業株式会社 安達真知男
船山株式会社 小山 敦史
株式会社ブルボン 井手 規秀
NPO法人コメリ災害対策センター 西室 幸徳
株式会社塚田牛乳 塚田 正幸

■特別企画12 (大会ホームページをご覧ください)

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第9会場 (展示ホールA3(特設))

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)
内藤 久貴 (熊本県健康福祉部健康局 健康づくり推進課)

2-SS12 (熊本大学企画) (語り部) 熊本からの発信 一熊本地震、南阿蘇—

熊本地震 震災ミュージアム KIOKU 久保 亮之
熊本地震 震災ミュージアム KIOKU 市村 孝広
国立大学法人熊本大学工学部 土木建築学科/学生災害復旧支援団体「熊助組」 竹内裕希子

■教育講演5

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 高橋 昌 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野)

2-EL5-1 本人主体のPHR (パーソナルヘルスレコード) で実現する災害医療DX

京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 石見 拓

2-EL5-2 災害時要医療的配慮者の情報管理—災害時に活用できるPHRシステム“PHReD”

新潟大学大学院医歯学総合研究科 新潟地域医療学講座 災害医学・医療人育成部門 高橋 昌

■教育講演6

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第1会場 (4Fマリンホール)

座長 千島佳也子 (国立健康危機管理研究機構 危機管理運営局 DMAT事務局)

2-EL6 介護医療都市と能登半島地震

穴水総合病院 中橋 毅

■教育講演7

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第2会場 (2FスノーホールA)

座長 伊藤 宏保 (新潟大学 未来社会共創ラボ)

2-EL7 新潟県中越地震からの教訓～DiaMATの創設に向けて

長岡中央総合病院 糖尿病センター 八幡 和明

■教育講演8

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第2会場 (2FスノーホールA)

座長 堂前洋一郎 (一般社団法人新潟県医師会)

2-EL8 世界初の日本酒学 (Sakeology)

新潟大学 平田 大

■教育講演9

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第3会場 (2FスノーホールB)

座長 中島 康 (東京都立病院機構 法人本部)

2-EL9 イノベーションを生み出す人材と組織：忍者 (起承) と武士 (転結) の融合が
創り出す「起承転結」の現場対応力～災害医療を動かすヒント～大阪大学フォアサイト株式会社/麗澤大学/横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科/
名古屋電機株式会社/株式会社サニックス資源開発グループ 竹林 一

■教育講演10

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第4会場 (2F中会議室201)

座長 山口 順子 (日本大学医学部 救急医学系 救急集中治療医学分野)

2-EL10 災害時の要支援者に対する口腔ケアと食支援

新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 井上 誠

■教育講演11

2日目 (3月20日) 7:50～8:50

第5会場 (3F中会議室301)

2-EL11 社会医学系専門医「指導医講習会」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 災害医学・医療人育成分野 高橋 昌
愛知医科大学病院 救急診療部 加納 秀記

■教育講演12

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第5会場 (3F中会議室301)

座長 岡崎 史子 (新潟大学医学部 医学教育学分野)

2-EL12 災害医療現場に必要なリーダーシップ・マネジメントを考える

山口大学医学部附属病院 総合診療部/山口大学医学部附属病院 臨床教育センター 齊藤 裕之
新潟市民病院 救急科/岐阜大学大学院医学系研究科 医科学専攻医学教育学博士課程 吉田 暁

■教育講演13

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第6会場 (3F中会議室302)

社会医学系専門医講習：共通講習 (感染症)

座長 五十嵐 豊 (日本医科大学 救急医学教室)

2-EL13 感染症アウトブレイク・パンデミックの対処と課題～公衆衛生倫理と人権問題～

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 阿南 英明

■シンポジウム8

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第1会場 (4Fマリンホール)

熊本地震から10年～その教訓はどのように活かされたか

座長 笠岡 俊志 (熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

中森 知毅 (労働者健康安全機構 横浜労災病院 救命救急センター)

2-SY8-1 熊本地震：急性期の本部、搬送体制の立上げを振り返る

済生会熊本病院 佐藤 友子

2-SY8-2 熊本地震における多数傷病者受入、手術対応、受援の経験からの教訓

熊本託麻台リハビリテーション病院 堀 耕太

2-SY8-3 熊本地震からの教訓 ～災害時VTE（静脈血栓塞栓症）対応～

医療法人木星会 山鹿温泉リハビリテーション病院 細川 浩

2-SY8-4 災害時小児周産期リエゾンの歩みと今後の展望

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 上杉 泰隆

2-SY8-5 熊本地震から10年～災害に備える心構え～

阿蘇医療センター 甲斐 豊

2-SY8-6 熊本地震での支援経験を生かした災害支援活動の考え方の構築と
地域災害医療体制の確立に向けた試み

栢記念病院 災害救急医療部 石川 敏仁

■シンポジウム9

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第2会場 (2FスノーホールA)

越の民は立ち直りたり

座長 伊藤 宏保 (新潟大学 未来社会共創ラボ)

森川 精二 (長野松代総合病院 整形外科)

2-SY9-1 大学メンタルケア専門家チーム「KEYPAT」の活動から振り返る
令和6年能登半島地震・水害

金沢大学保健管理センター 吉川 弘明

2-SY9-2 能登半島地震における輪島市の保健医療福祉提供体制の復旧・復興支援

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局／
共立女子大学大学院修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上吉原良実

2-SY9-3 令和6年能登半島地震における社会福祉施設復興の現状と課題

公立松任石川中央病院 災害医療対策センター 安間 圭一

2-SY9-4 越の民 (医) よく堪えて ここに立ち直りたり -能登の医療現場より-

公立能登総合病院 圓角 文英

■シンポジウム10

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第3会場 (2FスノーホールB)

病院・福祉施設の籠城支援を考える

座長 近藤 久禎 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
鈴木 教久 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)2-SY10-1 (市立輪島病院) 災害拠点病院としての機能を失った極限の状況下における
施策・受援そして職員を守る視点

輪島市役所 河崎 国幸

2-SY10-2 令和6年能登半島地震における養護老人ホームでの籠城・避難の経験

養護老人ホーム ふるさと能登 大角 千加

2-SY10-3 福島第一原子力発電所事故における病院の屋内退避(籠城)の経験と支援の必要性

福島県立医科大学医学部 放射線健康管理学講座/南相馬市立総合病院 地域医療センター/
台東区立台東病院 総合診療科 野中 沙織2-SY10-4 大規模地震を想定した重症心身障害児者施設における籠城支援の課題と提言
—みちのく療育園メディカルセンター訓練の振り返りを通して—

三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター 新貝 達

■シンポジウム11

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第4会場 (2F中会議室201)

災害と在宅医療

座長 井口清太郎 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座 地域医療分野)
高橋 在也 (日本在宅ケアアライアンス)

2-SY11-1 “必ず来る災害”に備える在宅呼吸療法支援 一臨床工学技士が守る患者の呼吸—

諏訪中央病院 松尾 昌

2-SY11-2 クラウド型災害情報システムを用いた在宅医療患者の情報収集と集約

大阪急性期・総合医療センター 中西 泰造

2-SY11-3 災害時における在宅酸素・人工呼吸器使用者支援体制の構築に向けた取り組み

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局/利根中央病院 救急科・総合診療科 鈴木 諭

2-SY11-4 洪水時における在宅医療患者の避難課題と支援方策：三段階調査による多面的検討

医療法人社団悠翔会 ノビシロクリニック藤沢 宮武 寛知

2-SY11-5 災害連絡網の情報共有から明らかになった、在宅ケアに係る災害支援の課題

日本在宅ケアアライアンス 高橋 在也

■シンポジウム12

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第5会場 (3F中会議室301)

WHOKC ジョイントセッション：Health EDRM(災害・健康危機管理)研究の現在地と未来地図

座長 茅野 龍馬 (WHO神戸センター)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

2-SY12-1 災害・健康危機管理 (Health EDRM) 研究の現状と今後の展望：
日本の先進性と世界貢献への期待

WHO神戸センター／長崎大学／広島大学 茅野 龍馬

2-SY12-2 WHO神戸センターでのHealth EDRMの国内普及の取り組み

東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 医療イノベーションコース／
国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 加藤真喜子

2-SY12-3 The Future Trajectory of the WHO Health EDRM Research Network:
Sustaining Global Evidence and the Imperative for Japanese Disaster Medical
Research Leadership

Global Disaster Risk Reduction, UK Health Security Agency Murray Virginia

2-SY12-4 我が国における災害・健康危機による健康影響研究の動向と課題：
Health EDRMの視点からのスコーピングレビュー

国立保健医療科学院 富尾 淳

指定発言 災害による二次的健康被害への科学的アプローチへの期待

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等危機管理対策室 野中 良恵

■シンポジウム13

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第5会場 (3F中会議室301)

大震災における呼吸器疾患患者

座長 大河内真也 (東北大学大学院医学研究科 産業医学分野)
大嶋 康義 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野)

2-SY13-1 新潟県中越地震・中越沖地震における呼吸器疾患患者と在宅呼吸療法

新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器・感染症内科学分野 大嶋 康義

2-SY13-2 熊本地震における熊本中央病院の対応と発災後の呼吸器疾患入院患者について

熊本中央病院 呼吸器内科 平田奈穂美

2-SY13-3 災害時の呼吸器疾患に起因する健康被害に対する考察 ～東日本大震災の経験から～

東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野／東北大学病院 呼吸器内科 大河内真也

2-SY13-4 災害時におけるD-MAPを活用した呼吸器疾患患者への対応

帝人ファーマ株式会社 流通管理部 田村 優次

2-SY13-5 在宅療養者への災害対策支援

フクダ電子株式会社 ライフテック本部 薬師川聡子

■シンポジウム 14

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「BCP研修には何が求められるか？」—企画する立場から—

座長 堀内 義仁 (国際医療福祉大学 熱海病院)
本間 正人 (鳥取大学医学部 救急災害医学分野)

- 2-SY14-1 「BCP研修には何が求められるか？」—企画する立場から— (BCP研修検討委員会)
国際医療福祉大学 熱海病院 堀内 義仁
- 2-SY14-2 被災地支援に求められるBCP (業務継続計画) と研修項目
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 三村 誠二
- 2-SY14-3 介護福祉施設を対象とした防災対応研修～愛知県での5年間の取り組み～
愛知医科大学 災害医療研究センター 柴田 隼人
- 2-SY14-4 平面図と駒を用いた行動シミュレーションによるBCP研修
—楽しさから実感を生む仕掛けづくり—
淀川平成病院 中田 直子
- 2-SY14-5 風水害BCPワークショップの質的分析に基づく平時のCSCATTT活用の示唆
長岡赤十字病院救命救急センター 小林 和紀
- 2-SY14-6 アクションリサーチによるボトムアップ型策定の効果
—BCP研修に求められる実践知—
長岡赤十字看護専門学校 看護学科 平野美樹子
- 2-SY14-7 災害急性期BCP研修に求められる患者安全状況モニターとHHH?
恵寿総合病院 新井 隆成
- 2-SY14-8 BCPは災害対応にとどまらず、未来を創る企業戦略である
大浜第一病院 萩池 昌信

■シンポジウム 15

2日目 (3月20日) 16:40～18:10

第9会場 (展示ホールA3(特設))

透析医療を確保する災害時広域連携の進歩と課題

座長 岩瀬 史明 (山梨県立中央病院 高度救命救急センター)
島崎 哲弥 (富山市立富山市民病院 臨床工学科)

- 2-SY15-1 実際の大災害と大規模地震時医療活動訓練における透析患者の広域搬送で得られた課題
東北大学腎臓内科学 宮崎真理子
- 2-SY15-2 東日本大震災における透析医療の維持と広域避難の教訓
—地域からみた災害時透析医療確保体制の課題と展望—
公益財団法人ときわ会 常磐病院リハビリテーション科 高松 克守
- 2-SY15-3 災害時の透析医療継続に向けた隣接県行政の協力の必要性と広域搬送体制構築の課題
青森県立中央病院 小笠原 賢
- 2-SY15-4 災害時における透析情報の共有—アンケート調査から
東北大学大学院医学系研究科 医学情報学 中山 雅晴

2-SY15-5 災害時広域関東圏連携における神奈川県の記事

独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院／一般社団法人神奈川県透析危機対策協議会 矢尾 淳

■パネルディスカッション12

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第1会場 (4Fマリンホール)

広域避難の受け入れ～1.5次避難・遠隔避難

座長 稲田 眞治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科)
中村 光伸 (前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

2-PD12-1 薬事対応から見た広域避難の受け入れ

藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦

2-PD12-2 令和6年能登半島地震DMAT4次隊派遣において経験した広域避難の受け入れとその課題

多根総合病院 救急科 柳 英雄

2-PD12-3 令和6年能登半島地震における高齢者広域避難後の転帰～死亡リスクと移動制約の分析～

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

2-PD12-4 令和6年能登半島地震における1.5次避難所での福祉団体の役割と課題

国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局 中野めぐみ

■パネルディスカッション13

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第2会場 (2FスノーホールA)

CSM訓練の軌跡と未来—災害医療の魂を次世代へ—

座長 大場 次郎 (国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 国際対策課)
阪本 太吾 (日本医科大学多摩永山病院 救命救急科)

2-PD13-1 CSMによって助かる命は存在するのか？

—阪神・淡路大震災ならびにJR福知山列車脱線事故対応の経験から考察する

兵庫県災害医療センター／順心神戸病院 中山 伸一

2-PD13-2 本学におけるCSM研修の今までと今後

岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座 眞瀬 智彦

2-PD13-3 新潟県消防学校高度救助コースと連携したDMATのCSRM訓練の意義と課題

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域医療確保・地域医療課題解決支援講座
災害医学・医療人育成分野 高橋 昌

2-PD13-4 国際緊急援助隊救助チームにおけるUSARとCSM

—25年間のあゆみと世界標準への挑戦、そして改めて国内展開へ—

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター／
国際緊急援助隊医療チーム、同救助チーム医療班 井上 潤一

2-PD13-5 先達の使命を未来へつなぐ

—委員会企画CRASHコースの設計と人材育成—

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局／
日本災害医学会 災害時急性期傷病対応検討委員会 大場 次郎

■パネルディスカッション14

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第2会場 (2FスノーホールA)

災害による健康被害の科学的検証：学際的合意と協働を目指して

座長 小谷 聡司 (厚生労働省 感染症対策課)
富尾 淳 (国立保健医療科学院 健康危機管理研究部)

2-PD14-1 市町村における災害関連死の審査指針について

弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 津久井 進

2-PD14-2 日本の災害関連死の制度的課題と改善にむけた提言

さいたま赤十字病院高度救命救急センター／東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野／
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 坪井 基浩

2-PD14-3 Redesigning MHPSS with Evidence: What works, for Whom, and How to Implement as Scale

Curtin University Elizabeth Newham

2-PD14-4 日本における自然災害後の二次的健康被害に関するスコーピングレビュー

東北大学 災害科学国際研究所 (IRIDeS) グローバルヘルス政策学分野 野村 周平

指定発言 日本災害医学会における正しい用語理解と使用の社会的インパクト

京都第一赤十字病院 救命救急センター 高階謙一郎

指定発言 災害による2次的健康被害への科学的アプローチへの期待

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 災害等対策室 野中 良恵

指定発言 国民の命と健康を守るための重層的取り組み

内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(避難支援担当)付 参事官 水野 忠幸

■パネルディスカッション15

2日目 (3月20日) 08:30～10:00

第3会場 (2FスノーホールB)

行政のBCPの現状

座長 阿南 英明 (地方独立行政法人神奈川県立病院機構)
近藤 久禎 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PD15-1 超高齢社会における地域に必要なBCPとは

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 近藤 久禎

2-PD15-2 新潟市における保健医療福祉分野のBCP整備状況と課題について

新潟市保健所 山崎 哲

2-PD15-3 行政による医療機関BCP策定支援の成果と課題—広島県の取組と今後の展望—

広島県健康福祉局 健康危機管理課／広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 小山 智士

2-PD15-4 地域主導で始めるBCP—行政BCPを補完する現場からの取り組み—

倉敷中央病院 池上 徹則

■パネルディスカッション16

2日目(3月20日)15:00～16:30

第3会場(2FスノーホールB)

日本そして海外の「避難所支援」と「炊き出し」～イタリアだけじゃない事例から考える～

座長 奥田 博子(国立保健医療科学院 統括研究官)
福田 靖(徳島赤十字病院 救急科)

2-PD16-1 避難所の食のあり方～熊本地震、能登半島地震から学ぶ～

元内閣府(防災担当) 参与 高崎健康福祉大学・農学部 櫻庭 英悦

2-PD16-2 災害時におけるキッチンカーの活用事例と今後への期待

兵庫県栄養士会/日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT リーダー 濱田 真里

2-PD16-3 インドネシア共和国における避難所での生活支援と炊き出し

宇都宮大学 坪山 宣代

2-PD16-4 2024年台湾花蓮地震における避難所運営～日本が参考にできること～

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科/日本学術振興会 特別研究員DC2 佐藤 寛華

2-PD16-5 大韓民国における避難所での生活支援と炊き出し

宇都宮大学 坪山 宣代

2-PD16-6 TKBのK、国内外の実践例比較

日本赤十字社 事業局救護・福祉部/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 植田 信策

■パネルディスカッション17

2日目(3月20日)17:50～19:20

第3会場(2FスノーホールB)

自然災害で多発する循環器疾患の現状と対策

座長 植田 信策(日本赤十字社 医療事業推進本部(兼)事業局救護・福祉部)
笠岡 俊志(熊本大学病院 災害医療教育研究センター)

2-PD17-1 多彩な自然災害発災時における循環器病発症予防に関する研究

阿蘇医療センター 甲斐 豊

2-PD17-2 令和6年能登半島地震後の脳血管疾患の発症状況

公立能登総合病院 圓角 文英

2-PD17-3 災害・気候変動時代の慢性心不全管理: 医療現場における脆弱性評価と予防戦略

済生会加須病院 木村 祐也

2-PD17-4 循環器専門医が災害支援に行ったら避難所の心不全患者さんにカップ麺しかないと言われた件: 疾患適応型災害食の備蓄率に関する全国横断調査

徳島大学病院 循環器内科 高橋 智紀

■パネルディスカッション18

2日目(3月20日)08:30~10:00

第4会場(2F中会議室201)

私はなぜ災害医療を志したか

座長 佐藤 友子(済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科)
松田 宏樹(国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-PD18-1 資格がゴールではなかった～実災害が教えたDMAT看護師の継続的な学び～

市立大津市民病院 吉田 修

2-PD18-2 「想定外」の中で問われる「医」のあり方

済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科 佐藤 友子

2-PD18-3 「私はなぜ災害医療を志したか」

災害医療へのターニングポイント過去を振り返ってみる

社会医療法人陽明会 小波瀬病院 安部 亮

2-PD18-4 義務を果たす

長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範

2-PD18-5 「志」の源泉は「覚悟」

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 松田 宏樹

■パネルディスカッション19

2日目(3月20日)10:10~11:40

第4会場(2F中会議室201)

原子力災害時の放射線防護措置

座長 小西英一郎(国立病院機構 災害医療センター 中央放射線部)
塚田 泰彦(福島県立医科大学 救急医療学講座)

2-PD19-1 原子力災害への我が国の対応とIARA GSR Part 7との比較検討

国立健康危機管理研究機構 牧野 友彦

2-PD19-2 災害医療支援活動に従事する医療者からみた「原則20mSv以下」という被ばく線量限度

千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学/千葉大学災害治療学研究所/
量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 栗田 健郎

2-PD19-3 原子力災害時に活動する保健医療福祉活動チームの放射線防護措置等に関する指針の提言

長浜赤十字病院/日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 中村 誠昌

2-PD19-4 原子力災害時の屋内退避計画における課題～陽圧化と線量管理の問題点～

松江赤十字病院 田邊 翔太

2-PD19-5 原子力災害医療計画にみる放射線防護措置

市立八幡浜総合病院 麻酔科 越智 元郎

2-PD19-6 原子力災害時の防護行動を支えたDirty Bomb対応訓練の経験

筑波メディカルセンター病院 救急診療科 阿竹 茂

■パネルディスカッション20

2日目 (3月20日) 16:10～17:40

第4会場 (2F中会議室201)

病院BCPと地域連携

座長 佐々木宏之 (東北大学 災害科学国際研究所)

本間 正人 (鳥取大学医学部 救急災害医学分野)

2-PD20-1 令和6年能登半島地震における病院BCPの有効性検証と地域連携BCPへの展望

愛知医科大学 災害医療研究センター 高橋 礼子

2-PD20-2 地域の復旧・復興から考える病院BCPと地域連携

徳島大学環境防災研究センター 湯浅 恭史

2-PD20-3 地域BCPのススメ スタッフ、患者、住民のいのちと暮らしを守るために一

慶應義塾大学 衛生学公衆衛生学教室/コミュニティヘルス研究機構 山岸 暁美

2-PD20-4 三重大学病院における受援体制を重視したBCP改定と防災訓練による初動期検証の取り組み

三重大学医学部附属病院 災害対策推進・教育センター/三重県・三重大学 みえ防災・減災センター/
三重大学医学部附属病院 肝胆腔・移植外科 岸和田昌之

2-PD20-5 札幌市東区地域連携BCP策定協議会(HBC5)の合同災害訓練報告

勤医協中央病院 救急センター 田口 大

■パネルディスカッション21

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第5会場 (3F中会議室301)

災害医療教育の未来図 一学生に何をどう教えるか一

座長 岡崎 史子 (新潟大学医学部 医学教育学分野)

張替喜世一 (国士館大学体育学部 スポーツ医科学科)

2-PD21-1 浜松医科大学における講座連携による健康危機管理教育の実践と展望

浜松医科大学 救急災害医学講座 高橋 善明

2-PD21-2 日米の大学協働による大災害シミュレーション体験実習 実践報告

Brigham Young University/石川県立看護大学 戸部 浩美

2-PD21-3 多職種連携を基盤とした災害医療教育の在り方と学部間協働の可能性

兵庫医科大学 救急・災害医学講座 山田 太平

2-PD21-4 災害医療支援を模擬体験する多大学多職種による災害医療ロジスティクス演習

長崎大学病院 災害医療支援室/長崎大学病院 高度救命救急センター/長崎大学病院 麻酔科 山下 和範

2-PD21-5 救急救命士教育における災害ロジスティクス演習を核とした実践的災害医療教育

日本体育大学大学院保健医療学研究科/日本体育大学保健医療学部 救急医療学科 鈴木 健介

■パネルディスカッション22

2日目 (3月20日) 10:10～11:40

第6会場 (3F中会議室302)

災害看護の実践知の構造化と標準化に向けて

座長 高村 ゆ希 (東京科学大学病院 看護部)

三浦由紀子 (山梨大学大学院 医工農学総合教育部 博士課程 ヒューマンヘルスケア学専攻)

2-PD22-1 A病院ERにおける看護師の災害対応知識向上と実践訓練

東京都立墨東病院 岩崎 知子

2-PD22-2 災害時に強い病院を支える看護師育成 ～キャリアラダーに基づく災害研修の導～

京都府立医科大学附属病院 看護部 嶋島 尚美

2-PD22-3 ネパール地震における看護実践の抽出と整理

埼玉医科大学総合医療センター 増田由美子

2-PD22-4 トルコ地震における看護実践の整理と構造化

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高以良 仁

2-PD22-5 災害に向けた看護の実践知を構造化するための取り組み

国立大学法人東京科学大学 東京科学大学病院 宮前 繁

■パネルディスカッション23

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第6会場 (3F中会議室302)

これからの国際緊急援助の在り方について

座長 池田 龍介 (独立行政法人国際協力機構 国際緊急援助隊 事務局)

夏川 知輝 (淀川キリスト教病院 救急科・集中治療科)

2-PD23-1 国際医療救援の新たな展開 ―日本赤十字社の取り組みと官民連携の可能性

大阪赤十字病院 国際医療救援部/日本赤十字社看護大学付属災害救護研究所 光森 健二

2-PD23-2 2025年ミャンマー大地震における超急性期から現在に至るまでの活動報告

特定非営利活動法人ジャパンハート 高橋茉莉子

2-PD23-3 「All Japan」で挑む国際緊急援助の未来―ミャンマー地震でのGO-NGO連携を超えて―

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 救急・集中治療センター/NPO法人TMAT 合田 祥悟

2-PD23-4 国際緊急援助におけるNGOの役割と官民連携の可能性

―ミャンマー地震でのザガイン地域医療支援の経験から―

特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 坂本 陽

2-PD23-5 循環型国際協力による緊急援助の進化

―ARCHプロジェクトとミャンマー地震からの示唆

兵庫県災害医療センター/国際緊急援助隊 (JDR) 医療チーム PHM/EMT イニシアティブ対応班/
国際協力機構 (JICA) ASEAN災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクト (ARCH2) 国内支援委員会
甲斐聡一朗

■パネルディスカッション24

2日目 (3月20日) 15:00～16:30

第8会場 (展示ホールA2(特設))

災害関連死予防の取り組み

座長 奥山 学 (秋田大学大学院医学系研究科 救急集中治療医学講座)
富永 綾 (岩手医科大学医学部 救急・災害医学講座)

2-PD24-1 経口補水液とミネラルウォーターでの排尿回数と体内水分保持の比較試験
＜災害避難所でのトイレ衛生改善・脱水対策に繋げ！＞

西奈良中央病院 整形外科 富和 清訓

2-PD24-2 災害時におけるロコモ管理と災害関連死の予防 ― 整形外科開業医の役割

カワムラ整形外科 河村 英徳

2-PD24-3 令和6年能登半島地震における災害関連死認定事例の背景要因：
叙述記録の定量的テキスト解析

さいたま赤十字病院高度救命救急センター／東北大学 災害科学国際研究所 災害医療国際協力学分野／
日本赤十字看護大学附属災害救護研究所 坪井 基浩

2-PD24-4 福島第一原子力発電所事故後の福島県南相馬市における災害関連死の概要：
南相馬市の災害関連死520例の全例調査

ときわ会常磐病院／福島県立医科大学／千葉大学 澤野 豊明

2-PD24-5 基礎自治体の災害対策本部における要配慮者対策の一元化

東京都保健医療局 医療政策部 上村 淳司

■パネルディスカッション25

2日目 (3月20日) 17:50～19:20

第8会場 (展示ホールA2(特設))

極限状況を乗り越える力―国際緊急人道支援における『支援者支援』の多角的アプローチ―

座長 茅野 龍馬 (WHO神戸センター)
原田奈穂子 (岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合科学学域 看護科学分野)

2-PD25-1 日本の同盟国8カ国に対応できる災害時急性期傷病記録の提案。
傷病者とMPC/K9(使役犬)の標準化

日本大学／新潟大学医学部 災害医療教育センター 照井 資規

2-PD25-2 能登半島地震における災害支援者のプレゼンティーズム関連要因の検討

広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 村山 華子

2-PD25-3 海外紛争地派遣におけるリスク～自己管理と後方支援～

下伊那赤十字病院 白子 隆志

2-PD25-4 NGOにおけるオフサイト支援者支援体制の構築と運用

ピースウィンズ・ジャパン 戸田はるか

2-PD25-5 民間NGO医療支援チームにおける海外派遣隊員のサポート体制

NPO法人TMAT 野口 幸洋

2-PD25-6 多層的支援体制による支援者のレジリエンス強化：国境なき医師団の取り組みから
国境なき医師団日本 福島 正樹

■パネルディスカッション26

2日目 (3月20日) 15:00～16:30

第9会場 (展示ホールA3(特設))

保健医療福祉調整本部での連携に向けた研修のあり方
～多職種での研修と分野別の研修との関係性～

座長 中久木康一 (東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター)
服部希世子 (熊本県有明保健所 兼 山鹿保健所)

2-PD26-1 災害時「食べる」連携研修会の展開と多職種での研修における課題

東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター/
東京科学大学大学院歯学総合研究科 救急災害医学分野 中久木康一

2-PD26-2 多機関連携による千葉県DMAT (CLDMAT) 研修の教育的効果と今後の課題

千葉県総合救急災害医療センター 武政 輝希

2-PD26-3 多機関連携による県保健医療福祉調整本部運営体制構築を目指した研修の実践

青森県立中央病院 小笠原 賢

2-PD26-4 保健医療福祉連携に向けた卒前教育のあり方と本部活動への連続性

藤田医科大学/新潟大学 和泉 邦彦

2-PD26-5 災害派遣福祉チーム (DWAT) 研修の実践と課題 -保健医療分野との連携に向けて-

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 伊藤 隆博

■ワークショップ5

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第5会場 (3F中会議室301)

2-WS5 振り返りの技法 significant event analysis を学ぼう

新潟大学 岡崎 史子
新潟市民病院 吉田 暁

■ワークショップ6

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第6会場 (3F中会議室302)

富士山セッション 富士山噴火への対応

座長 井上 潤一 (日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急センター)
小井土雄一 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

2-WS6-1 2025年3月に内閣府(防災担当)が公表した富士山噴火を想定した
降灰対策ガイドラインの概要紹介

山梨県富士山科学研究所 石峯 康浩

2-WS6-2 当院職員の富士山噴火に関する調査～これまでの避難訓練を踏まえた知識と意識～

富士吉田市立病院 近藤 充徳

2-WS6-3 富士山噴火に対するDMATの役割

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明

2-WS6-4 富士山噴火の降灰における医療提供体制の影響について

神奈川県健康医療局 保健医療部/神奈川県健康医療局 村田 沢人

2-WS6-5 災害拠点病院長会議で明らかとなった鹿児島県災害拠点病院の火山災害対策の現状と課題

鹿児島市立病院救命救急センター 吉原 秀明

■ワークショップ7

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第7会場 (展示ホールA1(特設))

災害対策基本法の改正が「医療」にもたらすもの

座長 根本 昌宏 (日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター)
安間 圭一 (公立松任石川中央病院 災害医療対策センター)

2-WS7-1 2025年の災害法制の改正一餅は餅屋の被災者支援への一步となるかー

大阪公立大学大学院文学研究科 菅野 拓

2-WS7-2 災害時の介護施設支援:医療が担った現実と福祉の課題
～能登半島地震から考える医療・福祉連携の在り方～

国立健康危機管理研究機構 厚生労働省 DMAT事務局/
共立女子大学大学院修士課程 療養生活支援看護学領域 小児看護学分野 上古原良実

2-WS7-3 災害時の福祉支援活動について

群馬県社会福祉協議会 鈴木 伸明

■ワークショップ8

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第9会場 (展示ホールA3(特設))

災害を科学する ～災害研究最前線～

座長 上杉 泰隆 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
林 達彦 (済生会新潟県央基幹病院)

2-WS8-1 大規模災害における多数遺体の対応と課題ー災害医療に隣接する遺体管理の視点からー

立教大学社会デザイン研究所 山形 真紀

2-WS8-2 南海トラフ地震時における患者搬送の課題と対応

愛知医科大学 災害医療研究センター/愛知医科大学 救急集中治療講座 津田 雅庸

2-WS8-3 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価
4年間の経年比較と評価手法の標準化ー

東京大学大学院工学研究科 システム創成学専攻 遠藤 直人

2-WS8-4 NICUからの避難トリアージを科学する

名古屋市立大学大学院医学研究科 救命救急医療学 今井 一徳

■ワークショップ9 (大会ホームページをご覧ください)

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

2-WS9 病院災害対策 はて、何から始めてよいのやら

座長 山下 和範 (長崎大学病院 災害医療支援室)

■口演2-1

2日目 (3月20日) 15:00～16:00

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「経験知」を科学する

座長 津下 詩帆 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 救急科)
中野 実 (前橋赤十字病院)

2-01-1 令和6年7月山形県北部豪雨災害を振り返る

最上広域市町村圏事務組合消防本部 加藤 賢治

2-01-2 秋田県東成瀬村の熊による多数傷病者事案の検討

秋田大学医学部附属病院 平澤 暢史

2-01-3 旭川空港航空機災害想定訓練における情報連携と傷病者管理の課題

旭川医科大学病院救命救急センター 大武 志帆

2-01-4 局地災害における受け入れ体制構築と当院の課題

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 リハビリテーション科 古田 宏

2-01-5 遠方での地震への津波警報により津波避難者が殺到し、病院診療に問題が生じた事例

神栖済生会病院 藤井 猛雄

2-01-6 富士スバルラインにおける多数傷病者事故の問題点

山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬 史明

2-01-7 船舶事故の患者対応の経験

東京慈恵会医科大学病院 救急災害医学講座 中谷 宣章

■口演2-2

2日目 (3月20日) 16:10～17:10

第7会場 (展示ホールA1(特設))

「災害時輸送」を科学する

座長 奥野 史寛 (埼玉県済生会加須病院 災害対策室)
信岡 祐 (国立病院機構 三重中央医療センター 救急診療科)

2-02-1 大規模災害時の船舶を活用した水上医療搬送

東京女子医科大学附属足立医療センター 岩崎 恵

2-02-2 鉄道における緊急時・災害時搬送のための車椅子固定システムの開発

兵庫県災害医療センター 島津 和久

2-02-3 軍関係の無人航空機による搬送の医学的利用に関するスコーピングレビュー

防衛医科大学校 医学科/防衛医科大学校 防衛医学講座 水野晃太郎

2-02-4 無人航空機を用いた輸血用血液製剤搬送の実効性と品質への影響

独立行政法人NHO長崎医療センター 臨床検査科 長井 一浩

2-02-5 離島地域における医療コンテナ巡回検診のロジスティック実証

—長崎県新上五島町における輸送・設営・運用の検証—

神戸学院大学 前林 清和

2-02-6 南海トラフ巨大地震における医療コンテナ搬送路確保のための

ドローン活用シミュレーション：障害物検出手法の検討

兵庫県立大学大学院 前林明日香

- 2-O2-7 都道府県への災害時における医療コンテナ活用「ガイドライン」について
神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司
- 2-O2-8 被災地での小型医療車両から医療コンテナへの展開を考える
神戸学院大学現代社会学部 社会防災学科 中田 敬司

■口演2-3

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「学生研究」を科学する

座長 橋本真由美 (福島県立医科大学大学院医学研究科 災害危機管理看護学講座)
吉野 篤人 (浜松医科大学 地域医療学講座)

- 2-O3-1 水害対策タイムラインの作成・その2—科学的基準の導入と検証—
秋田大学医学部 医学科 田崎 梨子
- 2-O3-2 医療コンテナ実証を経て考える災害時の医療コンテナの運用
長崎大学医学部 医学科 下野 舞花
- 2-O3-3 COVID-19パンデミック期の主観的幸福度の変化に影響を与えた因子の解析
東京慈恵会医科大学医学部 医学科 無藤 鼓子
- 2-O3-4 日本国内で報告された災害訓練の実施と課題に関する文献レビュー
北里大学看護学部 清水 大輝
- 2-O3-5 高知県災害拠点病院検査部門の事業継続性の調査結果
高知大学医学部 医学科 山崎 直樹
- 2-O3-6 津波被災が想定される地域の住民を対象としたシーツ搬送訓練と
拡張現実 (AR) 浸水没入体験に対するアンケート調査
三重大学医学部 医学科 西野 任
- 2-O3-7 病院エレベーター停止時の歩行不能患者の垂直避難の方法：narrative review
日本医科大学医学部 宮本 紗英
- 2-O3-8 データに基づく災害拠点病院における多数傷病者受入れ訓練の分析評価(2)
一タスク所要時間を考慮した患者の流れの計算機シミュレーション—
東京大学大学院工学系研究科 田中 来実

■口演2-4

2日目 (3月20日) 10:10～11:10

第8会場 (展示ホールA2(特設))

「広域搬送」を科学する

座長 柴田 高明 (和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座)
山内 延貴 (日本医科大学千葉北総病院 災害対策室)

- 2-O4-1 SCU運用方式の検討—小松基地と病院設置型診療部門の協働—
公立松任石川中央病院 災害医療対策センター 安間 圭一
- 2-O4-2 災害時のボトルネック～重症者の搬送体制の確立にむけて～
正志会 平成立石病院 大桃 丈知
- 2-O4-3 大規模災害時における自衛隊輸送機 (C-130) を活用した傷病者搬送能力の検証
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 池田 初男

- 2-04-4 兵庫県航空運用調整チーム（航空運用調整班）における医療側の役割と問題点
兵庫県立加古川医療センター 救急科 宮崎 大
- 2-04-5 広域医療搬送時の機内における患者マネジメントを考える
上杉 如子
- 2-04-6 籠城支援における船舶の可能性
NGOピースウィンズ・ジャパン (PWJ) 村上 朗
- 2-04-7 大規模災害時の[空路・陸路]医療搬送に関する指揮官の育成
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター／日本医科大学 救急医学講座／
日本医科大学千葉北総病院 災害対策室 本村 友一

■口演2-5

2日目（3月20日）16:40～17:40

第8会場（展示ホールA2(特設)）

「災害薬事」を科学する2

座長 関 啓輔（社会医療法人財団大樹会 総合病院 回生病院 災害管理室）
早川 実優（市立函館病院 薬剤部薬剤科）

- 2-05-1 災害時備蓄用医薬品の選定・備蓄量最適化についての再検討
社会医療法人緑泉会 米盛病院 薬剤課 日高伸之介
- 2-05-2 埼玉県およびさいたま市における薬剤師会の災害対策の試み。
災害薬事コーディネーターを中心に
株式会社実務薬学総合研究所／埼玉県薬剤師会／さいたま市薬剤師会／武蔵野大学薬学部 水 八寿裕
- 2-05-3 藤田医科大学防災訓練におけるOTC薬供給訓練
藤田医科大学／新潟大学 和泉 邦彦
- 2-05-4 災害訓練での手書き処方箋の運用と様式についての検討～調剤の観点から～
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局 木村 亜実
- 2-05-5 災害対応力の高い薬剤師を目指して：江戸川区の調剤薬局・病院薬剤師の意識と課題
公益社団法人江戸川区薬剤師会／森山記念病院 薬剤部 川奈部英洋
- 2-05-6 東日本大震災石巻医療圏災害薬事コーディネーションシステム（メロンパンシステム）
を基にした将来の災害時医薬品供給体制構築について
宮城県薬剤師会 丹野 佳郎
- 2-05-7 薬剤師の介入による疑義照会分析に基づく災害時手書き処方箋の安全対策：
教育訓練からマニュアル・処方箋様式改訂への提言
奈良県総合医療センター 薬剤部 濱咲 萌
- 2-05-8 災害活動薬剤師講習会の教育効果と今後の課題 — Kirkpatrickモデルによる評価 —
昭和医科大学薬学部 小林 靖奈

■口演2-6

2日目 (3月20日) 09:00～10:00

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「国際災害支援」を科学する 1

座長 上村 修二 (札幌医科大学 医療安全・病院医管理学講座)
武川 礼子 (埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター)

- 2-06-1 ミャンマー中部地震 国際緊急援助隊医療班派遣での現地支援者との連携
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 武田 徹
- 2-06-2 シエラレオネの小児専門三次病院における看護師に対する医療機器トレーニングについて
大阪赤十字病院 池田 載子
- 2-06-3 モルドバにおけるDMAT設立支援プロジェクトの成果と展望
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 大場 次郎
- 2-06-4 ARCH2第6回RCD参加報告:
タイでの国際緊急医療支援訓練における看護師の包括的役割と課題
熊本大学病院 災害医療教育研究センター 内田 彩香
- 2-06-5 ミャンマー地震の医療支援で見えた野外X線撮影の課題と可能性
日本医科大学付属病院 放射線科 平井 国雄
- 2-06-6 紛争下におけるストレスマネジメントの実践
—ガザ地区での武力衝突発生から3週間半の活動を振り返って—
大阪赤十字病院 看護部 川瀬佐知子
- 2-06-7 国際緊急援助隊医療チームにおける緊急避難判断基準の検討:
2016年以降の国際緊急援助隊医療チームの活動から
独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 高以良 仁
- 2-06-8 ミャンマー地震に対するJDR医療チーム一次隊の薬事対応
福岡大学薬学部 健康危機管理薬学研究室 江川 孝

■口演2-7

2日目 (3月20日) 10:10～11:10

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「国際災害支援」を科学する 2

座長 石川 源 (東京女子医科大学 産婦人科)
堀内 義仁 (国際医療福祉大学 熱海病院)

- 2-07-1 台湾における大規模震災・津波想定訓練への参加経験
福岡徳洲会病院 牟田 隆則
- 2-07-2 大規模災害時における国際医療チーム受援体制の実践と課題
—令和7年度合同訓練の検証—
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 豊國 義樹
- 2-07-3 国際受援実動訓練における大学生 (傷病者役) 投入の効果
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 金井 澁己

- 2-07-4 日本赤十字社の病院型ERUのEMT Type2認証過程と問題点について
大阪赤十字病院 国際医療救援部/日本赤十字社看護大学付属災害救護研究所 光森 健二
- 2-07-5 AUSMAT ロジスティクス演習の視察報告と日本DMATへのフィードバック
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 増留 流輝

■口演2-8

2日目 (3月20日) 16:40～17:40

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「人材育成」を科学する2

座長 有吉 孝一 (神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター)
林 靖之 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター)

- 2-08-1 言語聴覚士のための災害リハビリテーション基礎研修を実施して
山鹿温泉リハビリテーション病院/熊本県災害リハビリテーション推進協議会 (熊本JRAT) 事務局 佐藤 亮
- 2-08-2 地域医師会を中心とした多職種連携研修
— 情報管理を中心とした災害医療研修の実践と評価 —
日本体育大学保健医療学部 鈴木 健介
- 2-08-3 災害時におけるソーシャルワーク研修プログラムモデルの開発
桃山学院大学 平野 裕司
- 2-08-4 プライマリ・ケアの視点から見た災害医療人材育成の二つの柱
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 地域医療共育推進オフィス 香田 将英
- 2-08-5 長崎県における災害医療に関わる人材養成の現状と課題
長崎大学病院 災害医療支援室 山下 和範
- 2-08-6 被災者の心に寄り添うための警察官教育～災害時を見据えて、平時から
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・消化器外科・精神科 益田 充

■口演2-9

2日目 (3月20日) 17:50～18:50

第10会場 (展示ホールA4(特設))

「能登半島地震」を科学する

座長 佐藤 圭路 (加古川中央市民病院 救急科)
若井 聡智 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)

- 2-09-1 令和6年能登半島地震で運営された1.5次避難所での転倒事例に関する調査
有限会社LUPIN 水家健太郎
- 2-09-2 令和6年能登半島地震1.5次避難所における退所支援の必要性についての考察 その1
豊島区医師会 中辻 康博
- 2-09-3 令和6年能登半島地震1.5次避難所における退所支援の必要性についての考察 その2
— 支援対象者のスクリーニング —
武蔵野大学 原田とも子
- 2-09-4 令和6年能登半島地震における二次避難に対する歯科保健医療対応の検討
東北大学大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 中久木康一

- 2-09-5 災害リハビリテーション支援における遠隔下肢エコー評価導入の試み
— 珠州市におけるへき地避難者支援の一事例 —
奈良県総合医療センター 中島 咲歩
- 2-09-6 能登半島地震における全避難および籠城施設の復興過程の影響について
国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 松田 宏樹
- 2-09-7 令和6年能登半島地震の発災直後におけるメンタルヘルス問題に関する分析
広島大学 福永 亜美
- 2-09-8 避難所環境が避難者の健康状態に与える影響に関する実態調査
— 能登半島地震後のデータから —
佐賀大学医学部 看護学科 鈴木智恵子

■ ポスター2-1

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害拠点病院」を科学する 2

座長 武田 宗和 (東京女子医科大学 救急医学講座)
森川 祥彦 (三重大学医学部附属病院 薬剤部)

- 2-P1-1 DMAT派遣時の遠隔後方支援の在り方について
健和会大手町病院 中橋 厚子
- 2-P1-2 後方支援チームの設置と自己分析
慶應義塾大学病院 看護部 森 理乃
- 2-P1-3 現場を支える後方支援の役割
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター 災害対策チーム 星野 夏生
- 2-P1-4 訓練を通じて見えたDMATの地域貢献：一般病院支援の実際と今後の課題
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 加瀬 怜子
- 2-P1-5 演題取下
- 2-P1-6 災害拠点病院と地域連携の模索
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 災害対策支援室 /
社会医療法人財団池友会 新小文字病院 薬剤科 辻本 朗
- 2-P1-7 大規模アンサンブル気候予測データd4PDFを用いた水害時の病院間連携に関する勉強会
～人吉球磨地域における医療連携の取り組み・その4～
清水建設株式会社 技術研究所 長谷川夏来
- 2-P1-8 当院での経験から感じた基盤のない環境での災害医療の立ち上げにあたり重要な観点
帝京大学医学部附属溝口病院 澁谷 勲

■ポスター2-2

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「災害医療における情報」を科学する

座長 安藤和佳子 (神戸赤十字病院 薬剤部)
山内 聡 (仙台市立病院 救急科)

- 2-P2-1 医療圏内における災害時要支援対象施設等のマッピングによる可視化
佐久総合病院佐久医療センター 河合 俊輔
- 2-P2-2 救急タグを用いた避難所の受付時スクリーニング 第3報
大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター 酒井 智彦
- 2-P2-3 2024年青島太平洋マラソンにおける救護チームの通信確保について
宮崎善仁会病院 牧原 真治
- 2-P2-4 災害現場での情報を共有するIT基盤の整備への試み (スポーツ大会大での試行)
履正社国際医療スポーツ専門学校/災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会DSAM/
公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会 古田 高征
- 2-P2-5 Notionを利用したDMAT隊所有資器材管理
小樽市立病院DMAT 村岡 大起
- 2-P2-6 カラスによる光ファイバー通信障害の一例
戸畑共立病院 綾塚 仁志
- 2-P2-7 令和7年熊本県大雨特別警報地域のEMIS入力状況について
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT事務局 川野 聡美
- 2-P2-8 災害時におけるトリアージ管理システムの構築と情報共有の改善
広島市立北部医療センター安佐市民病院/放射線技術部 横元 剛祐

■ポスター2-3

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「院内災害対策」を科学する2

座長 田口 茂正 (さいたま赤十字病院 高度救命救急センター)
寺本 昇生 (神戸市立医療センター中央市民病院)

- 2-P3-1 薬剤部における院外用自主登院アクションカードの所持状況と運用課題
長野市民病院 薬剤部 金子 泰也
- 2-P3-2 地域救命救急センター外来初動対応マニュアル作成と暫定災害対策本部設置訓練が
看護師の知識・不安・行動に与える効果
山形県立新庄病院 上野 智可
- 2-P3-3 職員の防災意識向上を目指した取り組み
新城市民病院 守屋 賢志
- 2-P3-4 NICUで働く医療者の防災知識・防災意識および災害自己効力感との関連
総合病院土浦協同病院 看護部 上野 ゆき

- 2-P3-5 病院災害対策ワークショップに参加した受講生の意識・行動変容：
参加直後および半年後アンケートによる分析
千葉県総合救急災害医療センター 伊崎田和歌
- 2-P3-6 看護補助者を対象とした災害対応ラダー研修の評価と課題
社会医療法人緑泉病院 米盛病院 看護部 上野 佑太
- 2-P3-7 演題取下
- 2-P3-8 病院内の災害対策における人材育成～プロジェクト立ち上げから委員会へ、
災害対策チームとしての活動・組織づくり～
宝塚第一病院 雪田 智子

■ポスター2-4

2日目(3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場(展示ホール)

「広域搬送」を科学する

座長 平林 篤志(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター)
松井 賢(島根県立中央病院 医療技術局 放射線技術科)

- 2-P4-1 大規模災害時の香川県ドクターヘリの運用体制を構築する
—新たなワーキンググループの立ち上げ—
香川県立中央病院 佐々木和浩
- 2-P4-2 ドクターヘリ出動要請時に指令センターに対して三者通話システムを通じ
基地病院側から他施設のドクターカーの同時出動を要請した1事案
国立病院機構 水戸医療センター 山名 英俊
- 2-P4-3 都市部多数傷病者事案における搬送手段選択の検討
—2024年11月広島市安佐南区でのドクターヘリ出動事例から—
県立広島病院 小山 和宏
- 2-P4-4 爆発事故による傷病者4名をランデブーポイントに集結し搬送トリアージを行った
一例
鳥取県西部広域行政管理組合消防局 足立 海人
- 2-P4-5 静岡県東部ドクターヘリ要請時、運航不能時の対応とドクターカーの積極的運用の
差別化
順天堂大学医学部附属静岡病院 大坂 裕通
- 2-P4-6 病院移転における患者搬送を機に病院避難の課題について
地方独立行政法人那覇市立病院 黒崎 浩史
- 2-P4-7 航空機災害対応訓練における今後の課題
旭川医科大学病院救命救急センター 大滝 達也
- 2-P4-8 多様な医療機関の参加する空港災害訓練の見直しについて
地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 災害対策室 小山 敬

■ポスター2-5

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「院内災害対策」を科学する3

座長 加地 正人(埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター)
金畑 圭太(前橋赤十字病院 集中治療科・救急科)

- 2-P5-1 インフルエンザ流行期における救急外来の多数患者受診に対する対応
一宮西病院 瀬尾 亮太
- 2-P5-2 演題取下
- 2-P5-3 非災害拠点病院における災害対策の現状と課題
医療法人永井病院 看護部 加藤 智子
- 2-P5-4 院内災害対策本部における情報収集の効率化を目的とした報告書様式の標準化
近畿大学奈良病院 加藤 宏樹
- 2-P5-5 院内被害が想定されない規模の災害への対応
東北医科薬科大学医学部 佐藤 大
- 2-P5-6 病院に求められる災害対応力強化事業「災害時行動指針策定研修」に関する一考察
岩手医科大学 救急・災害医学講座 金子 拓
- 2-P5-7 資機材バッグの効果的な管理方法の構築
国民健康保険小松市民病院 北林 千紗
- 2-P5-8 災害拠点病院の搬送拠点活動に使用する諸室に関する調査研究
日本大学 江川 香奈

■ポスター2-6

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「災害訓練」を科学する2

座長 落合 秀信(宮崎大学医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野)
高寺由美子(前橋赤十字病院 看護部)

- 2-P6-1 南海トラフ地震を想定した災害拠点病院における災害図上訓練(DIG)の実践と成果
香川大学創造工学部 笠井 武志
- 2-P6-2 被災時の病院方針決定をわかりやすく～「現状分析と課題」シート活用の効果～
独立行政法人市立大津市民病院 高木 美紀
- 2-P6-3 自院被災を想定した病院防災訓練の実践と課題
—TMAT講師による実地シミュレーションの報告
医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院/NPO法人TMAT 村田 宇謙
- 2-P6-4 当院における平時の災害訓練・教育体制と大規模災害訓練の報告
総合病院山口赤十字病院 名越 万真
- 2-P6-5 複合災害下における病院機能維持と患者搬送:市立函館病院の訓練報告
市立函館病院 救命救急センター管理係 河瀬 亨哉

- 2-P6-6 院内DMATを対象としたアドバンス研修の経過と今後の課題
宝塚市立病院 上坂 剛
- 2-P6-7 当院における消火・避難訓練への取り組み
東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命救急センター 卯津羅雅彦
- 2-P6-8 2次救急の災害拠点病院における傷病者の想定について
独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 丸茂 晋也

■ポスター2-7

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「災害対応」を科学する2

座長 藤江 直輝(大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 薬局)
渡邊 栄三(愛知医科大学病院 高度救命救急センター)

- 2-P7-1 たった1時間の電子カルテ停止で露出した当院の課題とこれからの対応。
国立病院機構 高崎総合医療センター 町田 浩志
- 2-P7-2 車両突入事故の経験から明らかとなった院内災害対応のアプローチ
千葉徳洲会病院 看護部 診療看護師 小栗 悠太
- 2-P7-3 透析室での洗浄液誤混入による塩素ガス災害対応の経験と初動課題
健和会大手町病院 救急科 馬庭 幸詩
- 2-P7-4 海外要人対応の経験の報告
東京慈恵会医科大学病院 救急災害医学講座 中谷 宣章
- 2-P7-5 病院の停電点検で露呈した病院機能の脆弱性
社会医療法人愛仁会 千船病院 災害対策委員会 管理科 武田 裕充
- 2-P7-6 病院停電を経験して
飯塚病院 救急科 山田 哲久
- 2-P7-7 常用発電機故障による院内停電と対応
新潟県立新発田病院 診療部 臨床工学科 渡邊結季斗
- 2-P7-8 病院機能維持に関する一考察(主に電源喪失施設への電源供給と法的課題)
法務省 施設等機関(沖縄刑務所) 山田 光郎

■ポスター2-8

2日目(3月20日) 13:55~14:55

ポスター会場(展示ホール)

「資機材」を科学する

座長 金澤 豊(京都橘大学看護学部)
問田 千晶(信州大学医学部 救急集中治療医学教室)

- 2-P8-1 CYR-04Tエアストレッチャー・ラップ・ローバルの有用性の検討
NHO岡山医療センター 奥家弓美子
- 2-P8-2 訓練参加時における自チームへのタスク負荷について
~航空機で参集する際の取り組み~
大阪府立中河内救命救急センター 吉田 元治

- 2-P8-3 EXPO2025開会式への実戦配備から考えるモバイルSCOTの遠隔地派遣
東京女子医科大学附属足立医療センター 岩崎 恵
- 2-P8-4 海上自衛隊における艦艇搭載医療機器の機能維持への取り組み
自衛隊横須賀病院 衛生資材課 岩田 英城
- 2-P8-5 大規模地震に向けた在宅人工呼吸器転倒予防策の検証
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立広尾病院 明野 仁郎
- 2-P8-6 スライド型非常用階段降下ストレッチャーの人に対する負担に関する実験
関西国際大学 田中 綾子
- 2-P8-7 能登半島地震における全民救患者搬送協会ストレッチャー搬送の検討
一発災後期別の搬送元・搬送先の特徴一
国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 危機管理・運営局 DMAT事務局/
日本体育大学大学院保健医療学研究科 大山 凌治
- 2-P8-8 DMATの装備を考える 化学災害対応の側面から
法務省 奥村 徹

■ポスター2-9

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「学校教育」を科学する

座長 金子 唯 (藤田医科大学ばんだね病院 救急科)
本村あゆみ (国際医療福祉大学 医学部法医学)

- 2-P9-1 日本における看護系学生の防災意識と防災行動に関する研究の動向と課題
学校法人藍野大学 藍野大学短期大学部 渡辺 史子
- 2-P9-2 こどもや非医療者でもできる災害対応教育
千葉県がんセンター 小原 裕樹
- 2-P9-3 「遊びながら学ぶ防災」—小学生を対象とした体験型講習会の実践—
埼玉医科大学国際医療センター 遠山 笑里
- 2-P9-4 高校生への防災教育の実践とその教育的意義
掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター 高井 純太
- 2-P9-5 看護大学生における防災意識と災害自己効力感の関連—学年別の比較分析—
高知大学医学部 看護学科/高知大学教育研究部 医療学系 看護学部門 中野 葉子
- 2-P9-6 大学病院としての医看学生への災害医療教育～勉強会、訓練、そして実災害対応へ～
千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学/千葉大学災害治療学研究所 栗田 健郎
- 2-P9-7 鍼灸マッサージ師養成学校における災害意識調査と授業後の結果報告
朝日山治療室/公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会/災害支援鍼灸マッサージ師会合同委員会/
東海医療学園専門学校/湘南慶応病院 朝日山一男
- 2-P9-8 ADDIEモデルに基づく災害看護教育におけるeラーニングと演習を組み合わせた
個人防護具着脱教育の授業設計
防衛医科大学校 佐藤 昭太

■ポスター2-10

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「福祉・介護」を科学する

座長 是枝 大輔 (国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局)
長橋 和希 (医療法人伯鳳会 東京曳舟病院 救急救命士課)

- 2-P10-1 輪島市門前町における仮設住宅の訪問リハビリテーション活動報告
特定非営利活動法人ジャパンハート 田中 志帆
- 2-P10-2 一時待機ステーションでの活動報告～理学療法士が行う介護度トリアージ～
済生会滋賀県病院 リハビリテーション技術科 植田 征太
- 2-P10-3 令和6年能登半島地震の被災地における高齢者施設での支援活動報告
大場 久美
- 2-P10-4 福祉施設を対象とした事前リスト
(災害時社会福祉施設対応と機能維持支援シミュレーション) 作成の試み
三重中央医療センター 信岡 祐
- 2-P10-5 名古屋市における福祉施設版「事前リスト」作成の取組み
名古屋市健康福祉局 健康部 保健医療課 中島 大樹
- 2-P10-6 有事における訪問リハビリテーション提供事業所の継続・早期再開に関する課題調査
千葉県千葉リハビリテーションセンター 太田 直樹
- 2-P10-7 能登半島地震において自施設でのケアを継続した介護施設への
ヒアリングから考える災害時の避難支援
福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 山本 知佳
- 2-P10-8 令和6年能登半島地震における高齢者施設入所者の広域避難に係る
入所者情報提供の実態調査
りんくう総合医療センター 西村 直子

■ポスター2-11

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「BCP」を科学する

座長 佐々木秀章 (沖縄赤十字病院 救急集中治療部)
辻野 悦次 (大阪府)

- 2-P11-1 爆破予告を受けた病院におけるBCPに基づく対応
岡山済生会総合病院 野崎 哲
- 2-P11-2 当院におけるリスク管理・危機管理の現状とその課題～災害訓練の重要性について～
富山大学医学部 救急医学講座/富山大学附属病院 災害・救命センター 土井 智章
- 2-P11-3 院内給水ポンプ故障による病院機能低下事例
～ライフライン障害を契機とした事業継続計画 (BCP) 整備の重要性～
三重県厚生連 松阪中央総合病院 向井 慎治
- 2-P11-4 A病院における大規模災害発生時の医療体制構築と人的資源確保に向けた検討
社会医療法人財団池友会 新行橋病院 岩城 遼夏

- 2-P11-5 令和6年能登半島地震を経験した訪問看護ステーションにおける
業務継続計画の策定状況とその有用性に関する調査
合同会社ムラタ 訪問ナースステーションHERO 田中見栄晴
- 2-P11-6 院内災害対応設備見学ツアーを通じたスタッフ意識向上と
事業継続計画（BCP）への展開
さいたま赤十字病院 八坂 剛一
- 2-P11-7 内視鏡センターにおける危機管理体制の構築
川崎医科大学総合医療センター 内視鏡センター 大島万里子
- 2-P11-8 長年の運用で生じた病院災害対応文書群（マニュアル、BCP等）の矛盾と
その是正困難性
新小文字病院 富永 尚樹

■ポスター2-12

2日目（3月20日）13:55～14:55

ポスター会場（展示ホール）

「災害弱者とボランティア」を科学する

座長 梶野健太郎（関西医科大学 救急医学講座）
吉田 茜（東京医療保健大学立川看護学部）

- 2-P12-1 岡山大学ボランティア学生センターにおける災害支援モデルの構築：
実働訓練に基づく課題分析
岡山大学医学部 医学科/岡山大学 災害支援学生チーム「Aegis（イージス）」 原 菜々瀬
- 2-P12-2 大気汚染と妊娠に関連する合併症の現状と課題：ナラティブレビュー
東京医療保健大学立川看護学部 看護学科 土屋 和花
- 2-P12-3 洪水災害時の避難所における子どもの課題—一般小児と医療的ケア児の比較から
和歌山県立医科大学 医学部 山本明日美
- 2-P12-4 聴覚障害者が災害時に配慮を求めることへのための関連要因
高知県立大学看護学部 一ノ瀬 航
- 2-P12-5 大学隣接の大学病院における、災害時の医療ボランティアへの学生の意欲と
医療者の期待の差異
東京科学大学医学部 保健衛生学科 看護学専攻 澁谷優妃乃
- 2-P12-6 看護学生の災害ボランティア活動の実際と学びに関する文献検討
山形県立保健医療大学 栗原 美月
- 2-P12-7 生活困窮者における災害時の健康・社会的二次的影響：文献レビューによる検討
京都大学大学院医学研究科 社会的インパクト評価学講座 西岡 大輔

■ポスター-2-13

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「地域と防災」を科学する 1

座長 石井 史子 (NPO救命おかやま)
渡辺 勝也 (日南町役場 総務課)

2-P13-1 「形式的訓練から実践的訓練へー 教職員机上演習を導入した小学校避難訓練の
取り組みー」

長崎大学病院 災害医療支援室 宮田 佳之

2-P13-2 行政、医師会との協働訓練

日野市立病院 佐竹 恵

2-P13-3 市民参加を主体とした地域総合防災訓練での、救護所運営やDVT検診訓練に関する
医師会の取り組み

国立病院機構 呉医療センター 救急科 岩崎 泰昌

2-P13-4 市防災訓練への係わり方の変更

黒部市民病院 能登 啓尚

2-P13-5 地域特性を考慮した2地域合同多数傷病者対応訓練

東千葉メディカルセンター 看護部 深谷 舞香

2-P13-6 避難所における健康管理とレジリエンス向上を支える共創型の「場」の理論的検討

福島県立医科大学大学院 災害危機管理看護学講座 橋本真由美

2-P13-7 原子力災害オンサイト医療ネットワークの構築および取り組み状況について

電源開発株式会社/電気事業連合会 緊急作業中防災対応ワーキンググループ 成田 隆二

■ポスター-2-14

2日目 (3月20日) 13:55～14:55

ポスター会場 (展示ホール)

「赤十字」を科学する

座長 岡本 貴大 (神戸赤十字病院 医療社会事業部)
長島真理子 (深谷赤十字病院 救急診療科)

2-P14-1 病院 ERU 資機材動員手順書の見直しと運用体制改善の取り組み

大阪赤十字病院 加貫 亮三

2-P14-2 院内救護班研修での災害時保険医療福祉活動システム (D24H) 入力訓練の試み

日本赤十字社和歌山医療センター 災害医療支援センター 室 圭子

2-P14-3 市町・保健所が参画した日赤ブロック合同災害訓練
ー避難所支援協働の実践と地域効果

北見赤十字病院 谷口 治

2-P14-4 日本赤十字社の講習事業は令和8年12月に100周年を迎えます

日本赤十字社福島県支部 久保 芳宏

2-P14-5 日本赤十字社における救護員育成の組織体系と現状

日赤愛知医療センター名古屋第二病院/日赤救護員育成検討委員会/
日赤看護大学附属災害救護研究所 稲田 眞治

- 2-P14-6 避難所開設時から雑魚寝を排除し尊厳を護る空間を実現する「人・モノ・仕組み」
日本赤十字北海道看護大学 根本 昌宏
- 2-P14-7 医療班による搬送訓練も交えた局地災害訓練
前橋赤十字病院 集中治療科救急科 藤塚 健次
- 2-P14-8 これからの国際緊急援助には、「開発援助」の視点も必要！
～バングラデシュ赤新月社／パレスチナ赤新月社支援の経験から～
日本赤十字社和歌山医療センター 救急科・集中治療部／日本赤十字社和歌山医療センター 消化器外科／
日本赤十字社和歌山医療センター 精神科／日本赤十字社和歌山医療センター 国際医療救援登録要員
益田 充